

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【公表番号】特表 2002-503724 (P2002-503724A)

【公表日】平成 14 年 2 月 5 日 (2002.2.5)

【出願番号】特願 2000-532400 (P2000-532400)

【国際特許分類】

C 07 D 213/82 (2006.01)

A 61 K 31/497 (2006.01)

A 61 P 13/08 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 07 D 213/82

A 61 K 31/497

A 61 P 13/08

A 61 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 31 日 (2006.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

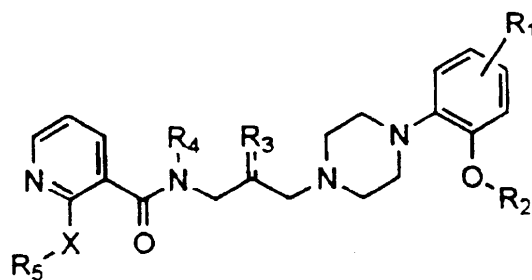
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 式 I

【化 1】



I

{ 式中、

R₁は、水素、ハロゲン、C₁₋₅アルコキシ、ヒドロキシルまたはC₁₋₅アルキルであり、
 R₂は、C₁₋₆アルキル、置換C₁₋₆アルキル[このアルキルの置換基は独立して1種以上のハロゲン類から選択される]、フェニル、置換フェニル[このフェニルの置換基は独立してC₁₋₅アルキル、C₁₋₅アルコキシおよびトリハロC₁₋₅アルキルから成る群の1員以上から選択される]、フェニルC₁₋₅アルキル、または置換フェニルC₁₋₅アルキル[このフェニルの置換基は独立してC₁₋₅アルキル、ハロゲン、C₁₋₅アルコキシおよびトリハロC₁₋₅アルキルから成る群の1員以上から選択される]であり、

R₃は、破線が存在しない場合には水素、ヒドロキシルまたはC₁₋₅アルコキシであるか、或は破線が存在する場合には酸素であり、

R₄は、水素、C₁₋₅アルキル、フェニルC₁₋₅アルキルまたは置換フェニルC₁₋₅アルキル[このフェニルの置換基は独立してC₁₋₅アルキル、C₁₋₅アルコキシおよびトリハロC₁₋

⁵アルキルから成る群の 1 員以上から選択される] であり、

R₅は、C₁₋₆アルキル、置換 C₁₋₆アルキル [このアルキルの置換基は独立して 1 種以上のハロゲン類から選択される]、フェニル、置換フェニル [このフェニルの置換基は独立して C₁₋₈アルキル、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、C₁₋₈アルキル、置換 C₁₋₈アルキル (このアルキルの置換基は、独立して、1 種以上のハロゲン類から選択される)、C₁₋₅アルコキシ、アミノ、C₁₋₅アルキルアミノ、ジ C₁₋₅アルキルアミノ、C₁₋₅アルキルカルボニル、C₁₋₅アルコキシカルボニル、アリールカルボニル、ニトリル、アミノスルホニル、C₁₋₅アルキルスルホニル、フェニルスルホニルおよび置換フェニルスルホニル (このフェニルの置換基は独立して C₁₋₈アルキル、水素、ハロゲン、ヒドロキシおよびニトロから成る群の 1 員以上から選択される) から成る群の 1 員以上から選択される]、フェニル C₁₋₅アルキル、置換フェニル C₁₋₅アルキル [このフェニルの置換基は独立して C₁₋₈アルキル、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、C₁₋₈アルキル、置換 C₁₋₈アルキル (このアルキルの置換基は、独立して、1 種以上のハロゲン類から選択される)、C₁₋₅アルコキシ、アミノ、C₁₋₅アルキルアミノ、ジ C₁₋₅アルキルアミノ、C₁₋₅アルキルカルボニル、C₁₋₅アルコキシカルボニルおよびニトロから成る群の 1 員以上から選択される] であり、

X は、酸素、硫黄または NH である }

で表される化合物、またはその薬学的に容認される塩、もしくは立体異性体、もしくはラセミ混合物、もしくはエナンチオマー。

【請求項 2】 R₃ が酸素である請求項 1 記載の化合物。

【請求項 3】 R₃ が水素またはヒドロキシである請求項 1 記載の化合物。

【請求項 4】 R₁ が水素、ハロゲンまたはヒドロキシであり、R₂ がフェニル、水素または C₁₋₆アルキルであり、R₄ が C₁₋₅アルキルまたは水素でありそして R₅ が C₁₋₅アルキル、フェニルまたは置換フェニルでありそして X が硫黄または酸素である請求項 3 記載の化合物。

【請求項 5】 R₁ が水素であり、R₂ が C₁₋₅アルキルであり、R₃ が水素であり、R₄ が水素であり、R₅ が置換フェニルでありそして X が酸素である請求項 4 記載の化合物。

【請求項 6】 R₁ が水素であり、R₂ が i - プロピルであり、R₃ がヒドロキシまたは水素であり、R₄ が水素であり、R₅ がフェニルまたは置換フェニルであり、ここで、このフェニルの置換基が独立して C₁₋₅アルコキシ、ハロゲン、ジ C₁₋₅アルキルアミノ、C₁₋₅アルキルおよびハロゲン置換 C₁₋₅アルキルから成る群の 1 員以上から選択され、そして X が酸素である請求項 1 記載の化合物。

【請求項 7】 R₁ が水素であり、R₂ が i - プロピルであり、R₃ がヒドロキシであり、R₄ が水素であり、R₅ がフェニルであり、X が酸素でありそしてキラリティーを持つ酸素の立体化学が S である請求項 1 記載の化合物。

【請求項 8】 薬学組成物であって、請求項 1 に記載の化合物を有効投薬量で含有する薬学組成物。

【請求項 9】 請求項 1 に記載の化合物の有効投薬量が約 0 . 1 から約 25 . 0 mg / kg である請求項 8 記載の薬学組成物。

【請求項 10】 請求項 1 に記載の化合物の有効投薬量が約 0 . 01 から約 1 . 0 mg / kg である請求項 8 記載の薬学組成物。